

政府支援の評価試験で、GMBOND[®] プロセスは対策費用の高い排出物を最大99%削減することを立証

環境規制に適合するのは費用のかかる課題です。もし公害規制に違反して罰金を課せられたら、遵守のために必要な費用は莫大なものになる可能性があります。

幸いなことに、米国政府は多くの環境規則を施行する一方、鑄造工場が品質と競争力を維持した上で環境規制に適合できるプロセスの研究を支援しています。米国国防総省とアメリカ自動車審議会 (U.S. Council for Automotive



Research) が共同で資金提供している鑄造排出物削減プログラム (Casting Emission Reduction Program: CERP) は、鑄造工場の排出物を削減するための代替材料や代替工法を特定・評価するために、独立した立場で試験を実施します。CERP は、比較基準であるフェノールウレタン・コールドボックス法に対して、GMBOND[™] プロセスは排出物を劇的に削減する工法であることを証明しています。

GMBOND[™] プロセスで排出物が劇的に削減

CERP の研究所の分析で、GMBOND[™] プロセスは驚異的な結果を示しました。アルミニウムでは公害排出物を 89% 削減し、鑄鉄ではさらに良く、99% も削減しました。



鑄造工場へ導入

GMBOND[™] プロセスは、CERP の支援と米国国防総省から数百万ドルの予算配分を得て、ゼネラル・モーターズ (GM) の鑄造工場への導入が開始されました。GM の経営陣と技術部門は、競争力を約束する新しい粘結剤技術の開発に強い関心を寄せていました。米国自動車労連、ホームル、CERP 代表は米国議会に、GMBOND[™] プロセスが環境と従業員の安全衛生を改善するだけでなく、損益も向上する技術であることを証明する実験プロジェクトを開始するための財政的支援を働きかけました。

このプロジェクトを実施することにより、将来は米国の鑄造工業全体が GMBOND[™] プロセスに転換し、多くの人の仕事を確保することができる可能性があります。

『CERP の重要性の一例は、ミシガン州サギノウの可鍛鑄鉄工場で行っているプロジェクトです。このプロジェクトは 2002 年度国防総省歳出予算案による資金拠出によって開始されましたが、この苦境にある鑄造工場が、ホームル・フーズが提供する全く新しいプロセスを導入することができるよう支援するものです。このプロセスにより鑄造工場は排出物を削減でき、より競争力を持てるようになります。この技術は、将来、他の鑄造工場へも移転されるでしょうし、サギノウ可鍛鑄鉄工場において 400 人の仕事を救うことになるでしょう。』

下院議員 ギル・グートクネヒト (Gil Gutknecht) (ミネソタ州・共和党)



GMBOND[®]

SAND BINDER
鑄物砂用粘結剤

単に水を加えるだけ

<http://www.gmbond.com>